

## 知っていますか？子どもが育つ魔法の言葉

忙しく毎日過ごしているとつい目先の事に気を取られ、子どもたちに「早く」「なんでやってないの?」「そんなことぐらいできるでしょう」等とつい追い立ててしまうことに気が付きます。そこで、少し早いですが長期休暇前のこの時期に、知っている方も、知らなかった方も、確認できたら、有意義な時間を過ごせるのではないかと思い、紹介します。

世界的ベストセラー「子どもが育つ魔法の言葉」の著者、ドロシー・ロー・ノルト(Dorothy Law Nolte/1924年1月12日-2005年11月6日/女性)の言葉です。彼女は、アメリカの著述家、カウンセラーで、40年以上にわたり、家族関係についての授業や講演を行っていた人物であり、家庭教育の子育てコンサルタントの第一人者でした。日本では、2005年2月の誕生日の際に皇太子殿下が朗読された詩の作者として注目を集めています。

### 子どもが育つ魔法の言葉

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる



叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、

子どもは、この世の中はいいところだとおもえるようになる



by ドロシー・ロー・ノルト

自分は「いいお母さん」だったのだろうか？と、この詩を読むと、反省することばかりです…。後悔先に立たず、です。

子育て真っ最中の保護者の皆さんには、今、立ち止まって、振り返ることで、次の一歩を踏みだし、後悔のないような子育てをしてほしいと思います。有意義な夏休みになりますように・・・

**次回来校日 7月9日(金)・9月10日(金)・17日(金)**



